



↑受賞報告に市長を訪ねた西村さん(左)と絹村さん(右)。

雑紙回収で二酸化炭素排出量削減
■萩間小学校/地球温暖化防止活動知事褒賞

萩間小学校美化委員長の西村愛加さん(東萩間)と副委員長の絹村留未さん(西萩間)は6月11日、地球温暖化防止活動知事褒賞の受賞報告のため市長を訪ねました。

同校では、平成17年から毎週火曜日に家庭から雑紙を持ち寄る雑紙回収を開始。このほど、この取り組みが地球温暖化防止に貢献する活動と認められました。

西村さんは「これからも友だちとこの活動を続けていきたいです」と話してくれました。

緑地公園づくりで地域貢献

■相良中学校/西山寺の緑地公園づくり

相良中学校3年生188人は6月8日、菅山区西山寺の緑地公園で、菅山区で里山を守る活動をしているボランティアグループ「楽遊会」(榎林茂男代表)と菅山区の人たち約20人の指導の下、公園整備を行いました。

これは、総合学習の一環として、自然に触れ地域に貢献するために毎年行われているものです。

生徒は、楽遊会の人たちからのこぎりや一輪車の使い方を教えてもらいながら、地域のために汗を流しました。



↑枝打ちされた桜を片付ける相良中学校の生徒。

宝くじ助成金で祭りの太鼓を整備

■財団法人自治総合センター宝くじ助成事業

豊岡区では6月、地域の伝統行事である八幡宮の祭典で使用される大太鼓や小太鼓などを整備しました。

これらの備品は、財団法人自治総合センターが行う「宝くじ助成事業」を活用したものです。

新しい太鼓を整備することで、子どもからお年寄りまで楽しみにしている祭典を今後も継続することができます。これにより、伝統文化の保存継承とさらなる地域コミュニティの活性化が期待されます。



↑整備した大太鼓1張と小太鼓3張(台を含む)。



↑太鼓のリズムに合わせてエイサーを踊る児童。

沖縄の伝統ある民族芸能を鑑賞

■相良小学校/芸術鑑賞会

相良小学校の芸術鑑賞会は6月25日、同校体育館で開かれました。

これは、児童に和楽器を取り入れた生の音楽に触れてもらおうと静岡を拠点に活動しているプロエイサーチーム「琉神」(鈴木一行代表)を招いて行われたもの。

沖縄の伝統舞踊「エイサー」や「琉球獅子舞」、「琉球古武術」などを鑑賞しました。

児童は太鼓のリズムに合わせてエイサーを踊るなど、沖縄の伝統芸能を楽しんでいました。



↑空港利用客に市の特産品であるガーベラなどがプレゼントされました。

空港利用者に特産品を贈呈

■富士山静岡空港開港1周年記念

富士山静岡空港は6月4日、1周年を迎えました。これを記念して市と市認定農業者協議会は同日、空港を訪れた人に市の特産品を贈呈しました。

贈呈したのは、ガーベラとフレーパティ、茶飴。受け取った人は、思いがけないプレゼントに驚いていましたが、「ありがとう」とうれしそうなお返事で返してくれました。

同日、空港ターミナルビル展望デッキでは、開港1周年記念式典が執り行なわれました。県知事は、将来は空港周辺にエアポート楽座をつくるなど利用促進策を進める方針を強調した上で、「富士山のように高い志を持って羽ばたいていきたい」とあいさつしました。

工夫を凝らした演出で盛り上がる

■県立榛原・相良高等学校文化祭

榛原高等学校「榛の木祭」と相良高等学校「蒼天祭」は6月5日、盛大に開催されました。

「榛の木祭」では、家庭部が「静岡県の地産地消」をテーマにパッチワークキルトなどを使って展示・発表しました。牧之原産のトマト、とうもろこし、小松菜といった野菜なども販売し、来場客に地産地消を呼びかけました。

「蒼天祭」では、吹奏楽部がダンスなど工夫を凝らした演出を織り交ぜながら演奏し、会場を沸かせていました。



↑榛原高等学校家庭部が地産地消をテーマに制作したキルト。



↑空港の化学消防車をカメラに収める児童。

化学消防車や管制塔に興味津津

■開港1周年記念富士山静岡空港見学ミニツアー

富士山静岡空港見学ミニツアーは6月5日と6日、小学校4年生から6年生までの児童とその保護者を対象に行われ、28組56人が参加しました。

参加者は、空港用化学消防車や普段は立ち入ることができない管制塔、空港周辺の千頭ヶ谷ビオトープを見学しました。

児童は化学消防車に乗せてもらうなど、記念に写真を撮っていました。管制塔を見学後、「見晴らしがいい。英語で話しているのがかっこ良かった」と話してくれました。

広報担当がどこにでも取材に行きます。
あなたの身近なホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報室 ☎(23) 0044 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp

